



Beyond KUSS , 2023 !!



PTA 講演会

先週7月8日(金)、㈱教育情報マネジメント代表取締役 蔵下克哉 先生をお招きし、『大学入試を前にした保護者の心構え』と題し、御講演いただきました。冒頭部分、不手際があり、音声を伝えることができず、誠に申しわけございませんでした。

大手予備校でボーダーライン設定の経験があり、現在は年間200回以上の学校での講演を10年以上継続している実績のとおり、保護者のみなさまにとって、三者面談に向けて、有意義なお話になったのではないのでしょうか。

当日も話題になっておりました模試の判定についてですが、『Beyond KUSS.2023!!』No11(O630)でも紹介しています。御参照ください。

三者面談、接近中

明日7月15日(金)、神戸大学出光佐三記念六甲台講堂での発表会です。9回生の代表8名が発表します。9回生全員が最高の聴衆となり、「あこがれの先輩」としての存在をアピールしてください。六甲台講堂で後輩が聴衆となる発表会も3年ぶりのことです。9回生の力を信じたいです。

三者面談で確認する主な内容は、「第1志望」設定、「第1志望」突破についての確認です。

表明している「第1志望」があなたにとってふさわしいものかどうかを確認します。生徒・保護者・学校の三者がふさわしいと意見が一致するのが理想です。自分が目指している説明をできるでしょうか。説明できない場合、「第1志望」設定は赤信号です。

「第1志望」設定ができた人は、「第1志望」突破に向けて、どのような学習計画、出願計画を考えているかの確認です。これまでもお知らせしていますが、受験学力に関する現状把握が必要です。そして、不十分な科目・分野の徹底復習。各科目の基礎・基本を強化し、受験の基礎体力(学力)を強固なものにすることが、夏季休業終了までの目標です。それが十分でない人は、共通テストの出題によっては右往左往する可能性が高くなります。

学習計画の方向性が固まったら、出願計画です。一般選抜に絞るのか、それとも特別選抜(総合型選抜、学校推薦型選抜)も検討するのか。特別選抜への出願を検討する場合、夏季休業中、卒業研究を出願書類の様式に合わせて修正することをはじめ、出願に向けての準備のための時間が必要になることを理解しておく必要があります。

「志望力」・「出願力」、これらのベクトルを最適にするためには、各科目の基礎・基本が強固でなければいけません。共通テスト模試、中間考査、どれだけ復習していますか。どれだけ自分の苦手分野を見つけ出していますか。自分で課題を見つけ出すことができない人は、学力上昇のスピードは鈍いです。何度も言っているように、秋季・冬季に学力を伸ばすための大きなチャンスが夏季休業です。なんとなく流されて過ごしてしまい、大きな後悔がないようにしましょう。

三者面談に向け、自分の考えを整理し、家庭でも十分に話をしておきましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2023!!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。

「K 値」を軸とした合否追跡

9 回生でも希望者が多い、神戸・東京・京都・大阪の 4 大学の一般選抜での合否追跡状況を紹介します。神戸大学の不合格者が突出して多いです。これは、4 大学のうち神戸大学なら合格する可能性があるかもしれないと思ひ、出願者が多いからです。本当に合格しやすいのでしょうか。合格者の平均値は、東京 82.7>京都 79.7>神戸 74.6>大阪 72.8 です。これが受験の実態です。なぜ、東京・京都と神戸・大阪で溝ができているのでしょうか。それは、「志望力」・「出願力」の差です。東京・京都を志望する人は「第 1 志望」へのこだわりが強く、それ以外の大学を志望する人と比べて、学習への取組度合いに差が出てしまうからです。「志望力」、大丈夫ですか。

省略

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS , 2023! !』など進路課が発信する情報の一部を HP に掲載しています。